

2023年3月期 決算概要

アキレス株式会社 (コード番号:5142 東証プライム市場)

2023年5月12日

1. 2023年3月期 業績

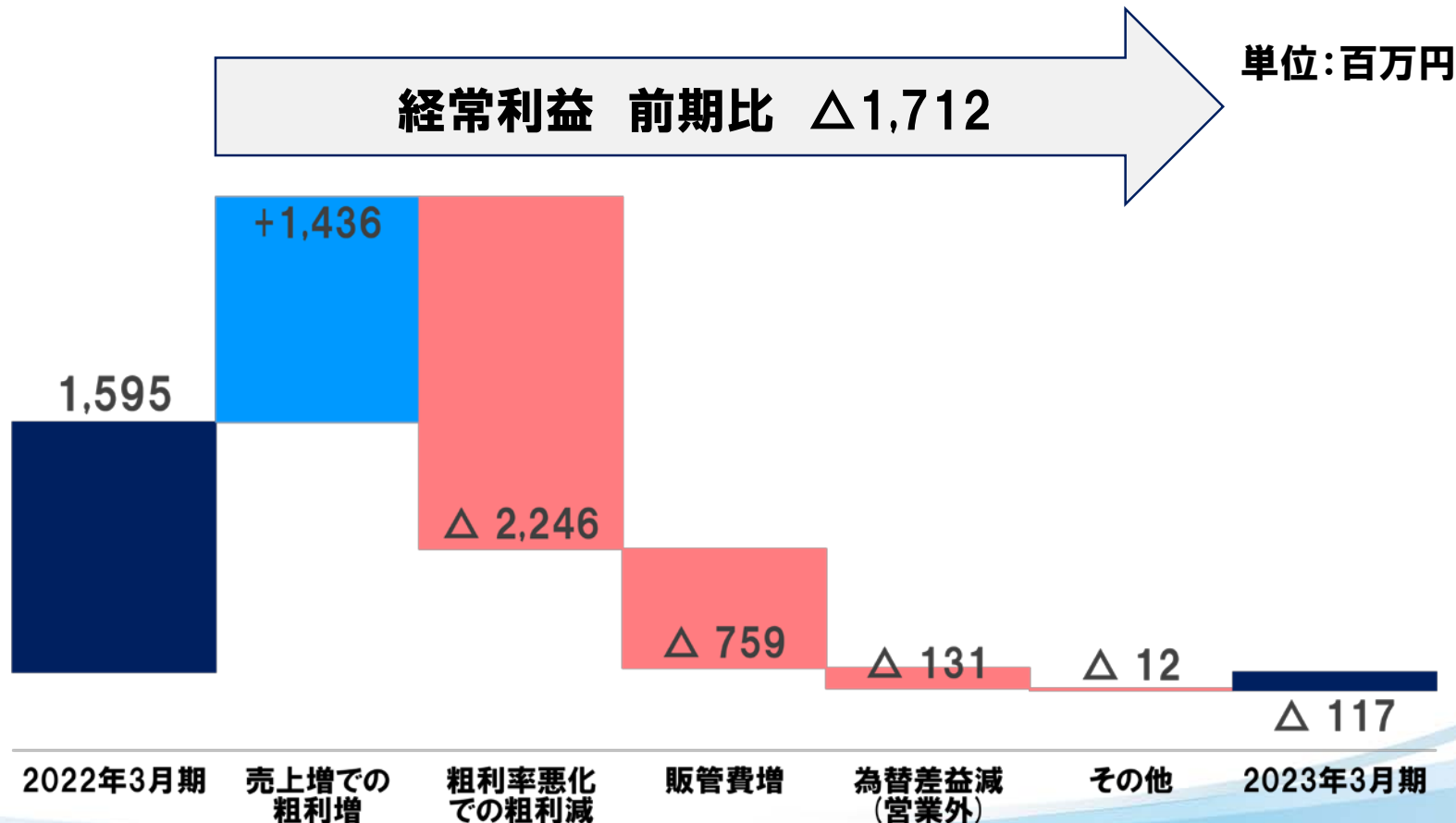
1. 2023年3月期 業績 — 連結損益計算書

- 売上高は、北米での医療用フィルムの堅調な推移、海外子会社の為替換算上の円安による押し上げ、価格改定等により増収
- 利益面では、原材料価格・エネルギーコストや物流費の上昇、為替円安に伴う仕入コストの増加等のコストアップが価格改定やコスト削減効果を上回り、営業・経常損失となる。さらに、収益性が低下した事業の減損処理により当期純損失
- 前回予想に対し、売上高はやや下回るも、営業・経常損失幅は縮小、減損損失計上の影響により当期純損失は拡大

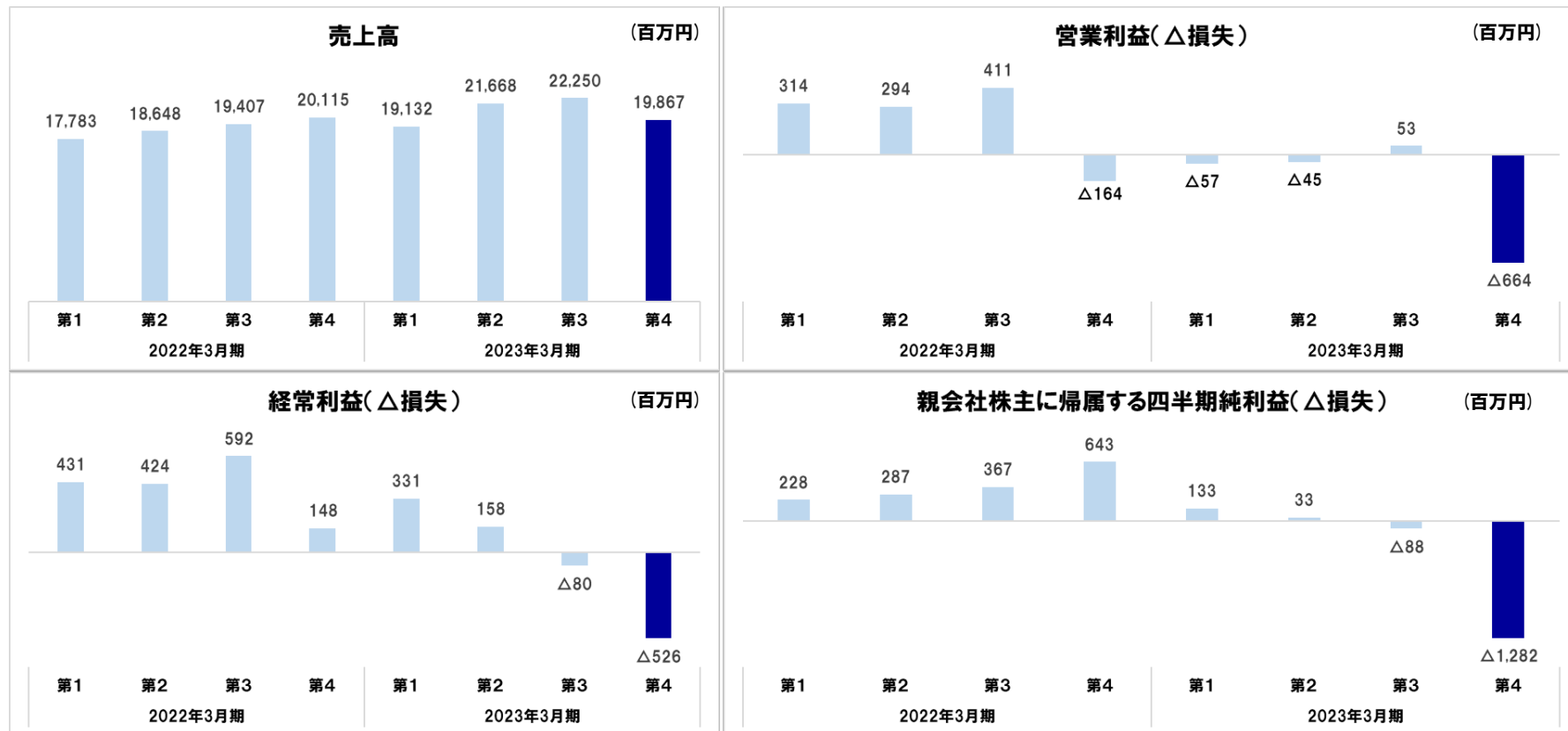
(単位:百万円)

	2022年3月期		2023年3月期		前期比		前回予想 2023年2月10日
	実績	売上比	実績	売上比	増減額	増減率	
売上高	75,953	-	82,917	-	6,964	9.2%	83,000
売上総利益	15,660	20.6%	14,850	17.9%	△ 810	△ 5.2%	
販売費及び一般管理費	14,804	19.5%	15,563	18.8%	759	5.1%	
営業利益(△損失)	855	1.1%	△ 713	△ 0.9%	△ 1,568	-	△ 1,500
経常利益(△損失)	1,595	2.1%	△ 117	△ 0.1%	△ 1,712	-	△ 900
親会社株主に帰属する 当期純利益(△損失)	1,525	2.0%	△ 1,204	△ 1.5%	△ 2,729	-	△ 700
1株当たり純利益 (△損失) (円)	97.12		△ 78.21		△ 175.33		△ 45.43

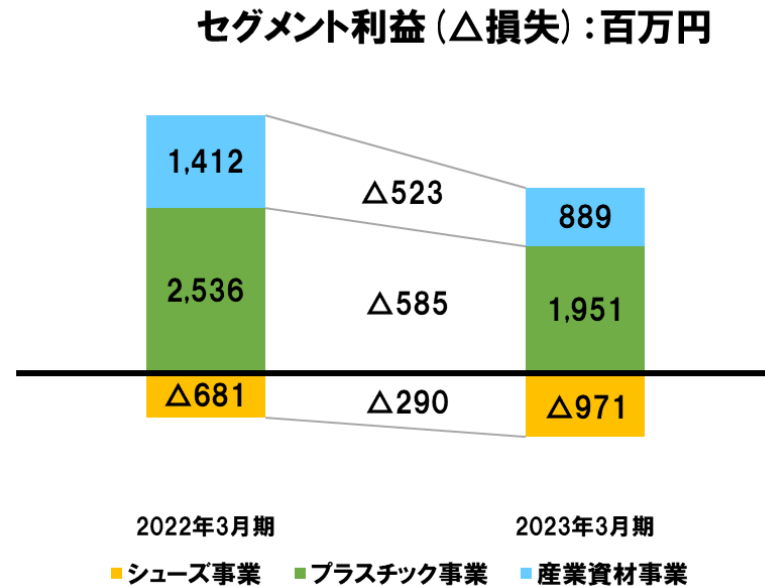
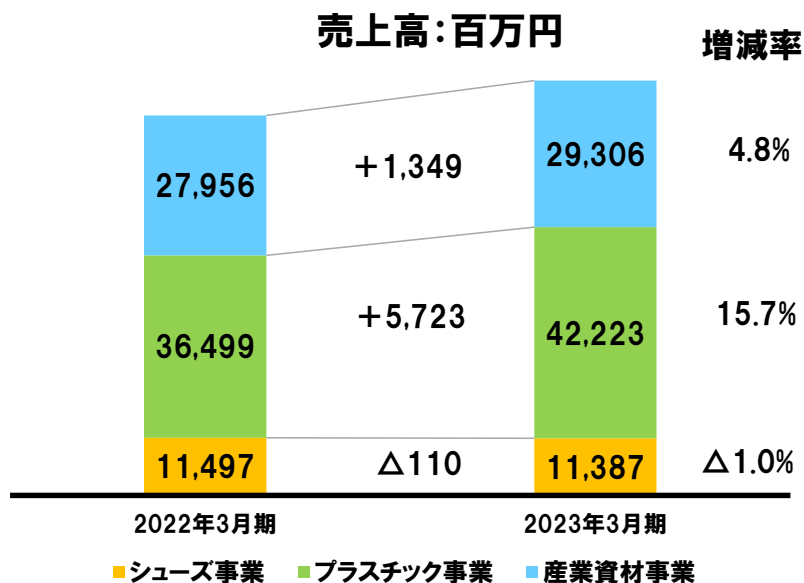
1. 2023年3月期 業績 — 経常利益の増減分析



1. 2023年3月期 業績 — 四半期別推移



1. 2023年3月期 業績 — セグメント情報



- シューズ事業は、子ども・ランニング用が好調に推移するも新型コロナウイルス感染による市況悪化の影響を受け苦戦
- プラスチック事業は、医療用フィルムが北米で堅調に推移。防災対策商品は国内の救助用エアテントやインフラ関係製品が好調に推移。車輦内装用資材は回復基調続く。
- 産業資材事業は、ウレタンの車輦用が回復。半導体分野向けウエハー搬送用部材は国内・外で好調に推移

- シューズ事業は、販売費の削減やコストダウン活動、価格改定に努めるも為替円安に伴う仕入コスト上昇の影響続き損失拡大
- プラスチック事業ならびに産業資材事業は、コストダウン活動や価格改定を推進する中、価格改定時期の遅れ等により原材料やエネルギー・物流費等のコストアップ吸収できず減益

1. 2023年3月期 業績 — 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減	
流動資産	44,428	49,181	4,753	<ul style="list-style-type: none"> ・ 棚卸資産 3,291 ・ 売上債権 1,793
有形固定資産	25,499	26,171	672	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機械装置及び運搬具 1,436 ・ 建設仮勘定 Δ 881 — 主に中国佛山子会社(車体内装用)での機械装置への振替
無形固定資産	400	393	Δ 7	
投資その他の資産	9,795	10,474	679	
資産合計	80,123	86,220	6,097	
流動負債	24,406	27,512	3,106	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕入債務 1,965 ・ 短期借入金 1,400
固定負債	7,988	12,502	4,514	<ul style="list-style-type: none"> 長期借入金 4,500 — 国内・外での設備投資案件対応
負債合計	32,395	40,014	7,619	
純資産	47,728	46,206	Δ 1,521	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利益剰余金 Δ1,830 ・ 資本剰余金 Δ 740 — 自己株式消却対応 ・ 為替換算調整勘定 1,191
負債・純資産合計	80,123	86,220	6,097	
自己資本比率	59.6%	53.6%	Δ 6.0%	
一株当たり純資産(円)	3,049.81	3,058.80	8.99	

1. 2023年3月期 業績 — 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	4,707	△ 1,072	△ 5,779
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 5,030	△ 4,484	545
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 860	4,547	5,407
現金及び現金同等物に 係る換算差額	642	308	△ 334
現金及び現金同等物の 期末残高	7,588	6,886	△ 701

- ・税金等調整前当期純利益 △3,473
- ・棚卸資産の増加による支出増 △2,030

- ・固定資産の取得による支出減 1,275
- ・固定資産の売却による収入減 △ 661

- ・長/短期借入による収入増 5,900

2. 2024年3月期 業績予想

2. 2024年3月期 業績予想

- ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格・エネルギーコストの高止まりや世界的なインフレの継続、金融市場の混乱などにより世界経済の減速が懸念される
- 海外市場への拡販注力、防災分野への積極展開、中国佛山子会社（車輦内装用）の本格稼働準備、一層のコストダウン活動や価格改定の継続、不採算事業の早期建て直しなどを推進

（単位：百万円）

	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期			2024年3月期 第2四半期累計	
	実績	売上比	実績	売上比	通期 計画	売上比	前年同期比 増減額	計画	前年同期比 増減額
売上高	75,953	-	82,917	-	84,000	-	1,083	40,000	△800
営業利益(△損失)	855	1.1%	△ 713	△0.9%	1,000	1.2%	1,713	0	102
経常利益(△損失)	1,595	2.1%	△ 117	△0.1%	1,400	1.7%	1,517	200	△289
親会社株主に帰属 する当期純利益 (△損失)	1,525	2.0%	△ 1,204	△1.5%	1,200	1.4%	2,404	500	334
年間配当金 (中間／期末)	40円 (期末)		40円 (期末)		40円予想 (期末)				



足を守る。農作物を守る。安眠を守る。
半導体を守る。医療を守る。道路を守る。
古墳を守る。体を守る。空間を守る。
家を守る。ビルを守る。生命を守る。
美味しいを守る。美観を守る。
DXを守る。インフラを守る。
健康を守る。環境を守る。
安心を守る。安全を守る。快適を守る。
私たちアキレスは、製品をつくるだけでなく、
さまざまな「マモル」を
新しい価値としてつないでいく。

そして、笑顔も守る、
社会も守る、未来も守る。
つなぐのは、アキレスです。

マモルを
ツナグ。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。